



— 淡路の情報いっぱい! 生活創造しんぶん —

月刊

ポケットあわじ



祈 平和



VOL.241

もくじ

P1 若人の広場公園 P2 焼夷弾投下・〇〇飛行場 P3 由良要塞・生石山砲台跡・住吉丸の悲劇 P4 山本春姫さん・ウクライナ募金
P5 花村カテリーナさん・淡路島各地にある忠魂碑 P6 淡路文化会館・淡路県民局からのお知らせ・淡路島くにうみ協会からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報

若人の広場公園

南あわじ市阿万塩屋町2658 大見山
TEL 0799-55-2520 入園無料

今からおよそ55年前。鳴門海峡を眼下に望む南あわじ市の景勝地大見山に、「戦没学徒記念若人の広場」が、太平洋戦争で亡くなった男女学徒を追悼する施設として建設されました。戦場の塹壕(ざんごう)を思わせる、石積みの外壁の展示資料室。空に向かってまっすぐのびたアプローチは、ペン先をイメージし高さ25mの記念塔。圧倒的な存在感を示す造形は、広島平和記念資料館などで知られる世界的建築家丹下健三(1913~2005)氏の設計です。竣工当時、年間約10万人を超えた来訪者も施設の老朽化、戦争に対する意識の低下、さらに阪神淡路大震災による一部被災などによりやむなく閉館。

閉館したまま時が過ぎました。多くの再開を望む声を受け、当初の建築魅力を活かした再整備を行い、

戦後70年に当たる平成27年に20年の時を超え南あわじ市立「若人の広場公園」が完成しました。地元の若者により採火された「永遠の灯」を灯し、恒久平和を願う公園施設です。(丹下都市建設設計)展望広場から眺める鳴門海峡、瀬戸内海の雄大なパノラマ。四季折々の素晴らしい景観。

そんな場所にあるこの施設には学徒出陣・動員に関わる資料や、わだつみ像が展示されており、戦争の悲惨さを後世に伝え平和を学ぶ施設の役割を担っています。現在は資料や遺品の多くは立命館大学国際平和ミュージアムに保管され、当館ではパネルにして展示されています。応援隊が訪れたこの日は快晴。海の青さと空の青さに囲まれたこの広場には、平和を願って訪れる観光客や、コロナ禍が少し収まった6月の学校行事で訪れた生徒の姿がありました。「祈・平和」

(応援隊:村上 紀代美、坂本 厚子、川原 雅代)

例年8月15日、南あわじ市による戦没学徒追悼献花式が、夜には南あわじ市遺族会主催の萬灯会が行われています。



夜空が突然ピカッと光り、バリバリという爆音とともに夜空が真っ赤に染まりました。

語り継ぐ記憶 焼夷弾投下



郷土史家
北山 学さん (89歳)

元社会科教諭で地元の郷土史家として知られている北山学さん(89歳)に、太平洋戦争時に焼夷弾が投下された話を伺うことができました。

当時、北山さんは鮎原国民学校6年生。寝付こうと窓越しに上空を見上げた時、突然ピカッと光った後、バリバリという爆音とともに夜空が真っ赤に染まり、花火のように見える焼夷弾が空から降ってきました。1945年3月13日夜、マリアナ諸島を飛び立ったB29部隊が大阪に向かう途中、一機が淡路島を横切った時に投弾したのではないかとことです。

落とされたのは、M69集束焼夷弾。場所は現在の五色町鮎原西地区。正六角形をした鋼鉄製の筒の中にはゼリー状の油脂ガソリンが詰められ、落下と共に空中さく裂し、燃えながら落下してきた弾が軒の家を爆撃しました。一夜明けても一帯はくすぶり続け、近くのため池の水の上で火が燃えていたといいます。今では、池も埋め立てられ畑に変わりました。投下された焼夷弾の一部は鮎原小学校に寄贈され、保管されています。(焼夷弾等については五色町史続編で詳細が記されています。)

また、北山さんに当時の生活の様子も伺いました。「空襲警報は何度も聞いたことがあるし、夜は電球に布を被せて明かりを漏らさないようにもした。食べるものがなく、配給された少しのお米にサツマイモを混ぜて芋粥にしたり、おやつはふかしたサツマイモくらい。

6年生の頃から勤労奉仕で炭焼きをしたり、五色浜で上陸用艇の壕掘り作業もした。」とのこと。北山さんはこの年の8月15日、この場所で戦争の終わりを知ることになりました。

終戦から77年経った今、戦争体験を対面で聞ける機会も困難になってきました。北山さんのような方から聞いた話を語り継ぐことも、平和を願う第一歩につながるのかもしれない。(応援隊：瀬戸 由美子)



①ふるさと五色の歴史 ②郷土の空襲



焼夷弾の一部→



【参考文献】①『ふるさと五色の歴史』 著者 北山学 発行 五色町 ②『郷土の空襲 -戦争中の人びとのくらし- 東播・淡路編』 発行 財団法人兵庫県学校厚生会 ③『五色町史 続編』発行 兵庫県津名郡五色町



〇〇飛行場跡記念碑
南あわじ市松帆脇田

昭和18年
榎列村と松帆村に飛行場建設を決定
榎列 約100ヘクタール
松帆 約80ヘクタール



昭和19年
幅30メートル 長さ800メートルの
東西滑走路と格納庫が完成
戦闘機離着陸の訓練

〇〇飛行場は第二次世界大戦に使用するために作られましたが、完成が遅かったため戦争に使用することはありませんでした。

まるまる

語り継ぐ記憶 〇〇飛行場



〇〇飛行場集会風景

昔、淡路島に飛行場があった。名前は・・「〇〇(まるまる)」！終戦間近の1944年3月、旧西淡町松帆脇田と旧三原町榎列に住む、計42戸がすぐ立ち退くように命じられました。数か月の突貫工事で作られた飛行場です。当時17歳で飛行場へ徴用で通っていた、近くに住む柏木文俊さんが記憶をたどりながら話してくださいました。

「飛行場のことはもちろん機密やから、だれが言い出したか知らんけど〇〇で言うてた。整備の仕事をしに行ったら、そこにもうすぐ行くという特攻兵もいた。練習に来ていた兵隊にピケットをもらったりして親しくなった。東北の人が多くて言葉がわかりにくかったけど、もうすぐ死ぬやと聞いて胸が詰まった。飛ぶ練習中に飛行機が落ちて、操縦士が目の前で死んだこともあった。その後は、燃料がなくなったのか、ほとんど飛行機は飛ばなかったが、飛行機を狙って敵機が地面すれすれを飛びながら機銃掃射で撃ってきた。ホンマに恐かった。終戦後は米兵が来て残った飛行機を集めて焼き、コンクリートも割られて埋めたり石垣や堤防に使われた。」(応援隊：浜田 泰美・岡 八代井)

【参考文献】『三原郡史』、『地域を知ろう 脇田・高屋・戎寺地区』 松帆老人クラブ連合会、松帆地域づくり協議会



〇〇飛行場スケッチ図 仲野常生画



戦闘機 三原郡民号



壊された滑走路のコンクリートは、戦後家の石垣や堤防に使われ、今でもその跡が残っています。



特攻隊に行く兵隊さんが練習に来てもうすぐ死ぬと聞いて胸が詰まったなあ...

由良要塞の生石山砲台跡は、洲本市由良地区の生石山（おいしやま）にあります。明治時代に造られ、大阪湾の入り口になる紀淡海峡を、この由良地区と対岸にある友ヶ島地区、加太・深山地区、鳴門地区とで大阪湾を第二次世界大戦の終戦まで防衛していました。



戦争遺跡あり、
絶景ありの散策路



紀淡海峡から大阪湾に侵入する敵艦を攻撃するため設置された由良要塞

第四砲台跡

砲身



展望台からの友ヶ島



洲本市由良町由良



第一砲台跡

ゆらようさい おいしやま

由良要塞・生石山砲台跡

生石山砲台跡は、第一から第五まで5つあります。それらは戦争遺跡として現在も残っています。生石山一帯は生石公園として、それぞれの砲台跡の説明表示板があり、散策路なども整備されています。洲本市由良地区の南、生石公園への道路標識に従って進むと「エトワール生石」があり、そのバーベキュー広場の手前を右折して坂道を上って行くと、第一駐車場に着きます。車をその駐車場に止め、トイレ右側に5つの砲台跡などの案内板があります。その脇の木製階段を登って行くと、砲台跡などが次々に現れてきます。登りの階段はちょっときついですが、頑張って登りましょう。散策路の途中には展望台が二カ所あり、対岸の友ヶ島や和歌山市、和歌山の山々の素晴らしい景色が見えます。また生石鼻灯台や生石神社なども見ることができます。

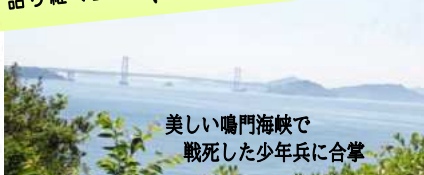
一番奥にある第一砲台跡は、比較的原型が残されていてウッドデッキから間近に見ることができ、その右側には円形の砲座も確認できます。第一砲台跡は第二駐車場の近くにあり、そこまで車で行くと階段を登らずに散策路を巡ることができます。第二駐車場には、この砲台に使われていた砲身が展示されています。二つの駐車場のどちらから行っても、散策路は往復して約1キロです。

この要塞のことに詳しい定本義広さんによると、「淡路島で貴重な戦争遺跡、由良要塞の生石山砲台跡のことをもっと知ってほしいですね。」と話されていました。それぞれの砲台跡には詳しい説明が書かれていますので、皆さんも淡路島に残る戦争遺跡の「由良要塞・生石山砲台跡」を、ぜひ訪れてみませんか。（応援隊：田処 壱久）



語り継ぐ記憶 住吉丸の悲劇

飛行士を目指す練習生らが
終戦間際に鳴門海峡で犠牲に



美しい鳴門海峡で
戦死した少年兵に合掌



観音様のお墓
仏様の多数は十代半ば



南あわじ市阿那賀1137-8

第二次世界大戦終戦間近の昭和20年8月2日、宝塚海軍航空隊甲種飛行予科訓練生100余名を乗せた船が、鳴門要塞増強工事の任務のため鳴門から鳴門海峡を阿那賀に向かって航行中、米艦載機の機銃掃射をうけ訓練生76名を含む82名が亡くなりました。

阿那賀港近くの駐車場から細い階段を登って行くと、ぱっと広がった先に観音様の像が見えます。その前に亡くなった人たちのお墓が並んでいました。墓碑をよく見ると10代半ばの人が多く、引率していた教官も20代～30代前半の方々でした。救助活動を手伝った地元の人によると、「船内は血まみれの遺体が折り重なり、『お母さん、お母さん』という声も聞こえた。かわいそうというほかに言葉がなかった。」そうです。すると以前に慰霊法要の記事を読んだ記憶が蘇りました。まだ中学生の子ども達、まだ親に甘えたい年ごろで散ってしまった子ども達。本人や親の無念さを思うと胸を締め付けられます。戦争は人を不幸にしてしまう。誰も幸せにはなれない。戦争は悲しい事です。

（応援隊：坂本 厚子、村上 紀代美、川原 雅代）

侵攻直前にウクライナから帰国したバレエ留学生

南あわじ市 山本 春姫さん(21才)



平和を願う日々...
仲間ともう一度
キーウで会いたい。



願いは同じ、幸せな日常を取り戻すこと



キーウの美しい街並み



歴史を感じる建物は、
平和の象徴



双子の弟の飛雄馬さん



8月24日、25日、26日、27日
ウクライナから来日した
バレエダンサーが出演する
公演がありますよー



はるき
山本春姫さん。大きな鏡とリビングに備えられたバレエバーの前で微笑む彼女は、あどけなさも残る少女の様でした。ウクライナにバレエ留学をし、卒業を目前にロシア侵攻により急遽帰国という大きな経験をしたとは思えません。

3才からバレエを始め、洲本高校3年の夏、プロのバレエ・ダンサーをめざし、双子の弟飛雄馬(ひゅうま)さんと共に留学を決意しました。留学先はバレエの本場キーウ(キエフ)にある「キーウ・バレエ・カレッジ」。歴史を感じる美しい街並みのキーウは「平和そのもの」だったそうです。両親にも見せてあげたい歴史を感じる街並み。連れて行ってあげたいカフェ。異国の仲間も増え、卒業を目の前に夢を膨らませていた2022年の1月。突然大使館から「今すぐ帰国を」という連絡が飛び込みます。悩んだ末「すぐまたキーウに戻る」と思いながら、荷物も寮においたまま帰国。ロシア侵攻による悲惨なウクライナ情勢を目にしたのは、帰国してからだそうです。あまりの身の回りの変化に落ち込む毎日だったと言いますが、「自分に今できること、するべき事はなんだろう」と考え、前に向かって進み始めています。自宅や徳島のバレエ教室での練習。富山でのウクライナ・チャリティーコンサートへの出演。

そして6月、ようやく学校のオンライン授業も始まり、卒業も現実のものとなりました。現在パソナグループの一員としての仕事も決まり、確実に前に進んでいます。

「日常を取り戻すために今、自分にできることをやる」これは困難な事が合った時、どうしたらよいかと思悩む我々全てに伝えてくれているメッセージだと思います。

(応援隊:村上 紀代美 川原 雅代)

5月21日(土)、22日(日)に「洲本市で第18回 城下町洲本レトロなまち歩き」が行われました。そのイベントの一つで、洲本市愛育連合会によるウクライナの子どもたちへの募金活動・チャリティーバザーがコモード56レインボープラザで行われていました。愛育班活動とは、子供達が健やかに生まれ育ち、病気・障害があっても、高齢になっても、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことを目的とした住民の組織活動です。今回のイベントはウクライナの子ども達も戦争のない故郷で健やかに暮らせる日が来ますように願いを込めた募金活動でした。
(応援隊:坂本 厚子)

ウクライナの平和を願う募金活動

洲本市愛育連合会

洲本市愛育連合会「ウクライナ支援プロジェクト」

ウクライナ支援
チャリティーバザー

ウクライナの子ども達へ
届ける募金活動

募金箱

関西看護医療大学助教の花村カテリーナさんが令和4年5月28日、淡路市国際交流協会総会での講演会で“「私」という存在と文化のはざま”と題してのご講演をされました。

相手も大切に、そして自分も大切に 一日も早い世界の平和を願う



淡路市国際交流協会総会・講演会
「私」という存在と文化のはざままで
講師 関西看護医療大学看護学研究科
看護学部看護学科助教 花村カテリーナさん

ウクライナ生まれ
淡路島在住の
カテリーナさん

カテリーナさんはウクライナのキエフで生まれ、ご両親はキエフに残っています。ウクライナからは多くの人が避難して、人口も減少しています。

カテリーナさんは幼少期をキエフで暮らし5歳の時に祖父母といとこと4人で日本に来て、茨城県で暮らし始めました。母方の祖父はソビエト研究者で、日本にはよく来ていたようです。日本の小学校に行くと「ガイジン」とよく指を指されるので、家に帰って「ガイジン」を調べると、耳の悪い人。国外の人とあり、私たちが異質の存在かと文化異質を与えられたのは初めての経験でした。

祖父は大学の先生だったので、慣れてくると家族を連れて交流や楽しい所へ連れて行ってくれました。また、生活の中では祖母や小学校を通じて、地域の人たちと関係を深めていきました。交流の要となっていた小学生のカテリーナを、祖父母は「日本の外交官」と呼んでいました。

「私」という存在とのはざままで対等な立場で活動する権利をベースに、外国人としての立場を強調して生きる権利、国際人として生きる権利、ふわふわなままで好きなように生きる権利、日本人っぽく生きる権利、その他いっぱい作られた価値観、それを受け入れ、それに馴染み、それとともに生きる私たち、カテリーナさんから皆さんへメッセージを発します。

一つの答えはむずかしいです、相手も大切に！自分も大切に！そして一日も早く世界中に平和が来るように！願っています。

(応援隊：廣岡 ひろ子)

関西看護医療大学看護学部看護学科 助教

臨床心理士 花村カテリーナさん



語り継ぐ記憶 淡路島各地にある忠魂碑

過去の戦争で戦死した地域出身の兵士の記念のために製作された記念碑「忠魂碑」。淡路島にも「忠魂碑」が点在しています。立派な忠魂碑を建てた人々、そこに祀られている人々に思いを馳せながら、改めて「平和」について考えました。



洲本八幡神社



国産彦国神社



洲本大野
忠魂碑と供養塔



東あわじ木根列
あのご神社の近く



東あわじ木根良
休眼町近くの忠魂碑



淡路市東洲
故教習さんの近く

Peace



淡路文化会館からのお知らせ

〈あなたも淡路生活創造応援隊に
参加してみませんか?〉

- ◎主な活動内容：月刊情報誌生活創造しんぶん『ポケットあわじ』に関する取材・寄稿・配布等です。
- ◎主な活動日：毎月最終木曜日の編集会議
(楽しい賑やかな情報交換の場となっています。)
- ◎会議の場所：淡路文化会館(淡路市多賀600)
- ◎募集条件：淡路島内にお住いの方で、生活創造活動に理解のある方ならどなたでもOK



【問い合わせ先】

淡路文化会館
TEL：0799-85-1391
FAX：0799-85-0400

淡路について詳しくなりますよ～

淡路文化会館からのお知らせ

日ごろ、淡路地域において活動されている、音楽サークル、ダンスサークル、スポーツ健康サークル、パソコンサークル、文化サークル等のみなさん!

淡路生活創造活動グループに登録しませんか

- ① 淡路文化会館内の「淡路生活創造情報プラザ」が無料で使用できます。大小14の部屋があります。
- ② 印刷機が5000枚/月までなら無料で使用できます。(※用紙は持参)

等々、淡路文化会館の「淡路生活創造情報プラザ」を活動拠点として利用できます。ぜひ、みなさまのグループも、登録しませんか?

【問い合わせ先】

(公財) 兵庫県生きがい創造協会 淡路文化会館
TEL：0799-85-1391
FAX：0799-85-0400
淡路文化会館HPもご覧ください
<https://www.awaji-bunkakaikan.jp/>



兵庫県淡路県民局からのお知らせ

「運転経歴証明書」の特典をご存じですか?

高齢になり運転免許証の自主返納を考えている方も多いと思います。返納することにより「買物や通院に困る」「身分証明をするときに不便」などの不安があるでしょう。そのような、運転を卒業した方や家族が充実した生活を続けられるよう、自治体や事業者等により様々な支援が行われています。

「運転経歴証明書」の交付

運転免許証を自主返納された方は、過去5年間の運転経歴を証明する「運転経歴証明書」の交付を受けることができます。これは運転免許証と同様に公的な本人確認書類として使えます。また更新する必要はありません。

また、運転経歴証明書を提示することでタクシーやバスを割引運賃で利用できたり、温泉施設の割引など様々な特典を受けることができます。

特典の内容は各自治体により異なりますので都道府県警察にお問い合わせください。

兵庫県警察本部交通部
TEL 078-912-1628



淡路県民局交流渦潮室県民・商工労政課

(消費者センター)

☎0799-26-3360

(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

☆地域活性化助成事業(第2期) 申請団体募集

淡路島の地域活性化を図ることを目的とした、まちおこし、地域交流、文化・芸術又は「国生みの島」をテーマとした事業を実施しようとする団体に20万円を限度に助成します。

- ※申請書は当協会ホームページよりダウンロード可
- 期限 8月26日(金)必着 (持参に限る)

☆令和4年度 第2回淡路島くにうみ講座

「自然を感じ、心に伝わる風景づくり」

- 講師 平工 詠子 氏 (ガーデンデザイナー)
- 日時 9月25日(日) 13時30分～15時20分
- 場所 淡路夢舞台国際会議場 イベントホール
- 内容

ナチュラルスティックガーデンの魅力などについてお話しいただきます。

(申込フォーム⇒)

- 定員 先着200名(無料)
- ※要事前申込 締切：9月15日(木)



申込・問い合わせ先：(一財)淡路島くにうみ協会
電話：0799-24-2001 FAX:0799-25-2521
Eメール：awajishima@kuniumi.or.jp
ホームページ：https://www.kuniumi.or.jp

インフォメーション



ご注意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

◆淡路市立しづかホール

所 〒656-2132淡路市志筑新島5-4
 ☎ 0799-62-2001 F0799-62-6465
 Mail : info@shizukahall.com
 休 火曜日

フォレストin淡路島 ～おかげさまで20年～

日 8月28日(日) 開演14:00 (開場13:30)
 問 しづかホール
 料 指定席5,000円 (税込)
 ※未就学児童入場不可
 【チケット販売】淡路市立しづかホール・淡路市立サンシャイホール・洲本文化体育館
 詳しくはしづかホールのホームページをご覧ください。

親子で楽しむ クラシック名曲コンサート こどもオペラ「星の王子さま」

日 9月11日(日) 開演11:00 (開場10:15)
 料 全席指定 大人1,500円 こども500円
 ※3歳以下のお子様は、保護者の膝上のみ入場無料。ただし、お席が必要な場合はチケットが必要です。
 【チケット販売】淡路市立しづかホール・淡路市立サンシャイホール・洲本文化体育館
 詳しくはしづかホールのホームページをご覧ください。
 問 淡路市立しづかホール
 ☎ 0799-62-2001
 MAIL: info@shizukahall.com
 HP : http://shizukahall.com/

◆淡路島国営明石海峡公園

所 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10
 ☎ 0799-72-2000 F 0799-72-2100

サマーフェスタ

自然素材を使った工作体験をはじめ、夏休み宿題おたすけ教室や、カラフルなビニール傘を空中に展示する「れいんぼーあんぶれら」も開催。

◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

令和4年度 松帆銅鐸夏季特別展 「奇跡の松帆銅鐸展～砂山からの軌跡～」

平成27年に南あわじ市の工場の砂山から発見された松帆銅鐸。すべての調査が完了し、全7点を初公開します。また、兵庫県の銅鐸の魅力を展示紹介する「兵庫五国の銅鐸2」もあわせて開催いたします。

日 7月3日(水)～9月11日(日)
 料 入館料
 大人500円、高大生300円、小中生150円
 ※小中生は「ココロンカード」又は「のびのびパスポート」利用可で入館無料
 時 9:00～17:00(入館は16:30まで)
 休 月曜休館(月曜日が祝日の場合は翌日)
 問 詳しくは玉青館まで
 ☎ 0799-36-2314



◆洲本市民交流センター

所 〒656-0054 洲本市宇原1788-1
 ☎ 0799-24-4450 F 0799-24-4452
 休 月曜日休館 時 9:00～21:00

環境ポスターコンテスト 応募作品展示

世界環境デーにちなみ、幼児・小学生を対象に募集したポスター(受賞作品を含む)を展示しています。
 日 8月2日(火)9:00～8月21日(日)21:00
 会 アールギャラリー
 料 観覧無料
 問 洲本市民交流センター
 ☎ 0799-24-4450

日 7月16日(土)～8月31日(水)

会 ビジター棟ほか
 料 参加費はイベントにより異なる
 ※別途入園料、駐車料金必要



◆淡路人形座公演案内

所 656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先
 ☎ 0799-52-0260 F 0799-52-3072
 Mail : awajiningyo@gmail.com

定時公演

淡路人形をまるごと(ボックス
 テーじ・神事・人形浄瑠璃)
 を体感しよう!

8月1日(月)～30日(火)
 「ボックステーじ」「人形浄瑠璃」・「戎舞」
 時 10:00～、15:00～
 「人形浄瑠璃」・「東海道中膝栗毛 赤坂並木の段」
 時 11:10～、13:30～
 ※5日(金)は終日、「ボックステーじ」・「人形浄瑠璃」・「戎舞」のみ
 ※13日(土)は特別公演のため、通常公演は休演いたします。
 料 大人 1,800円 中高生1,300円
 小学生1,000円 幼児 300円
 ※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

【夏休み裏方体験ツアー】

8月7日(日)、14日(日)、21日(日)、28日(日) (15:00のみ)
 申込み資格: 15:00公演を観劇された方
 先着20名 事前予約必要
 料金: 観劇料のみ (裏方体験ツアー無料)
 所要時間: 1時間30分

【8月特別公演】

第2回 淡路人形座 若手会
 次代を担う若者の新たな挑戦!

日 8月27日(土) 開場17:30 (開演18:00)
 「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段(奥)」
 「壺坂霊験記 山の段」
 ※7月28日(木)よりチケット販売中
 料 入場料 1,000円 (自由席)
 問 淡路人形座窓口・電話・じゃらんのみ

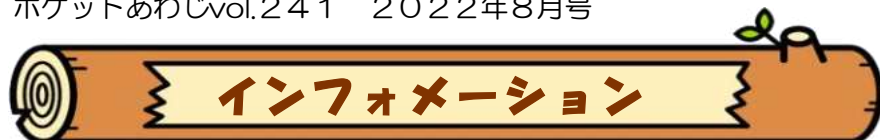
淡路人形座へご来座される
 お客様へのお知らせとお願い

国及び自治体の定める新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づいて、感染予防処置を実施しております。お客様にはマスクの着用、手指の消毒、検温の実施等へのご協力をお願い申し上げます。

【臨時公演】

※30名様以上の場合、下記の時間帯で臨時公演も可能です。(15日前までの事前予約が必要です。)

時 9:00、16:00
 【8月の休館日】 3日(水)、10日(水)、17日(水)、18日(木)、24日(水)、31日(水)。



ご 注 意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

◆淡路市立サンシャインホール

所 〒656-2305 淡路市浦148-1
 ☎ 0799-74-0250 ㊟ 0799-74-0256
 時 10:00～18:30
 休 毎週木曜日及び祝日の翌平日

サンシャインがかるフェスタ

夏休みの思い出づくりにぜひお越しください！生演奏の音楽や出店、ワークショップ等でお楽しみください。キッチンカーも来るよ♪

会 淡路市立サンシャインホール
 日 8月14日(日) ※雨天決行
 時 12:00～16:00
 料 無料 (入退場自由)
 問 0799-74-0250

◆淡路文化会館

所 〒656-1521 淡路市多賀600
 ☎ 0799-85-1391 ㊟ 0799-85-0400
 時 9:00～17:00 料 観覧無料

今月の美術展示

〔淡路島カメラガールズ写真展〕

淡路島在住の女性写真家による作品展です。プロ・アマチュア写真家の女性目線の作品、デジタル写真・フィルム写真などいろいろな写真を展示します。
 日 8月2日(火)10:00～8月9日(火) 15:00
 会 美術展示室

◆洲本市文化体育館

所 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17
 ☎ 0799-25-332 ㊟ 0799-25-3325
 休 火曜日(祝日の場合は翌水曜日休館)

第75回洲本市美術展ポスターデザインコンテスト応募作品展

第75回洲本市美術展の開催を記念して、美術展の普及啓発活動を行うためのポスターデザインを募集し、応募作品の展示を行います。

日 8月10日(水)～8月28日(日)
 会 エントランス
 料 無料
 問 洲本市教育委員会生涯学習課
 ☎ 0799-24-7632

白美会 第42回展

洲本高校美術部OBの洲高白美会メンバーによる作品展
 日 8月17日(水) 13:00～19:00
 8月18日(木) 9:00～19:00
 8月19日(金) 9:00～16:00
 会 会議室 1 A-3
 料 無料
 問 白美会 担当:三谷
 ☎ 0799-22-6682

〔スイスの山(アルプス)と街写真展〕

スイスを旅行した時の、アルプスの大自然と美しい街並みの風景の一部を紹介できればと思います。

日 8月11日(木)9:00～8月20日(土)16:00
 会 美術展示室

〔全日本写真連盟淡路支部作品展〕

2か月毎の例会で撮影技術を高め、一年間撮りためた写真を、全紙パネルの写真にして展示します。
 日 8月22日(月)9:00～9月4日(日)16:00
 会 美術展示室

◆兵庫県立淡路夢舞台公苑温室あわじグリーン館

所 〒656-2306 淡路市夢舞台4
 ☎ 0799-74-1200 ㊟ 0799-74-1201
 時 10:00～18:00 (最終入館は閉館の30分前まで)

サマーガーデン

日本最大級の温室が赤や黄、青の原色カラーの植物を中心としたカラーコーディネートで夏らしいお庭をアレンジ。また、人気の食虫植物の展示も始まります！

日 7月16日(土)～9月4日(日)
 時 10:00～18:00
 料 (入館料) 大人 750円 高校生以下無料 70歳以上(要証明)370円

土居先生の「食虫植物教室」

★同時開催！関西食虫植物愛好会「食虫植物即売会」(10:00～)★

日 8月13日(土) 13:00～
 時 10:00～18:00
 料 500円<おみやげ付き>
 (入館料) 大人 750円 高校生以下無料 70歳以上(要証明)370円

ムッシュ・フルーリーの花講座

ムッシュ・フルーリーとして大人気の、県立フラワーセンター石田園長を講師に迎え、植物の生き残り戦略や進化の不思議について学ぶ教室です。

日 8月21日(日)
 ①館内ガイドツアー 10:30～11:30
 ②花講座 13:30～14:30
 料 100円<花講座参加費>
 (入館料) 大人 750円 高校生以下無料 70歳以上(要証明)370円

編集だより

ミンミンと蝉の声、燦々と照りつける太陽、肌にまとわりつく空気、ジメジメと蒸し暑い日々が続きます。淡路島は自然の恵みに満ち、鰹、タコ、タマネギなど豊かな食材があります。元気に食べて、心と身体の平和を！夏バテを吹き飛ばしましょう♪

応援隊：竹代 結

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしくお願ひします。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちら是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館 淡路文化会館運営協議会
 ㊟ 656-1521淡路市多賀600
 ☎ 0799-85-1391 ㊟ 0799-85-0400
 E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.or.jp
 H P : https://www.awaji-bunkakaikan.jp/

私たちはポケットあわじを応援します。

